

数学

神戸大学 [理系] (前期)

<全体分析>

試験時間 120分 解答問題数 5題

解答形式
記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)
難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

融合問題が多い。今年は証明問題が出題されなかった。

その他トピックス

今年は文系と同じ問題が1題、同様のテーマの問題が2題出題された。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	微分法・数列	数学Ⅲ 数学B	関数の最大、二項間漸化式。	標準
2	図形と方程式	数学Ⅱ	直線と放物線が接する条件。 軌跡。	標準
3	確率・整数	数学A	サイコロの目の積が約数になる確率。	標準
4	積分法 空間ベクトル	数学Ⅲ 数学B	回転体の体積。	標準
5	積分法	数学Ⅲ	置換積分法、領域の面積。	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

今年は数学Ⅲの分野から3題出題されており、十分に対策しておきたい。
数学Ⅲ以外では場合の数・確率、数列、整数、ベクトルなどがよく出題されており、注意したい。
融合問題や目新しい問題も出題されることが多いため、実践的な演習で思考力を強化したい。